



第1次中期経営計画 STEP FORWARD 2026

2023.07-2026.06

株式会社ソニックフロー

SONIC FLOW

目次

1. 第一次中期経営計画

- 重点施策と環境認識
- 基本方針と基本戦略
- 個別施策
- 数値目標

2. サステナビリティへの取り組み

重点施策

1. コア領域の強化
2. エリア分散
3. 販売ルートが多様化
4. SCM全体最適化に向けた高付加価値ソリューション提案
5. DX推進による顧客利便性の向上と効率化
6. プラットフォーマーとしての地位強化
7. 次世代につなぐオペレーションオリジン（現場主義）とその継承
8. 環境・社会・ガバナンスと企業倫理

重点施策

ESG経営の基盤強化

注力分野、SDGsの位置づけ

マテリアリティテーマ

1. 脱炭素社会へ貢献
2. 循環型社会への貢献

注力分野①
脱炭素・循環型
社会への貢献



マテリアリティテーマ

9. 強靱で持続可能な物流サービスの構築と進化

注力分野②
強靱で持続可能な物流
サービスの構築と進化



注力分野③
協創による新たな価値の創出

マテリアリティテーマ

3. 成長を支える多様な人財の確保
10. DXの深化
11. 協創によるビジネスモデルの構築



注力分野を支える基盤

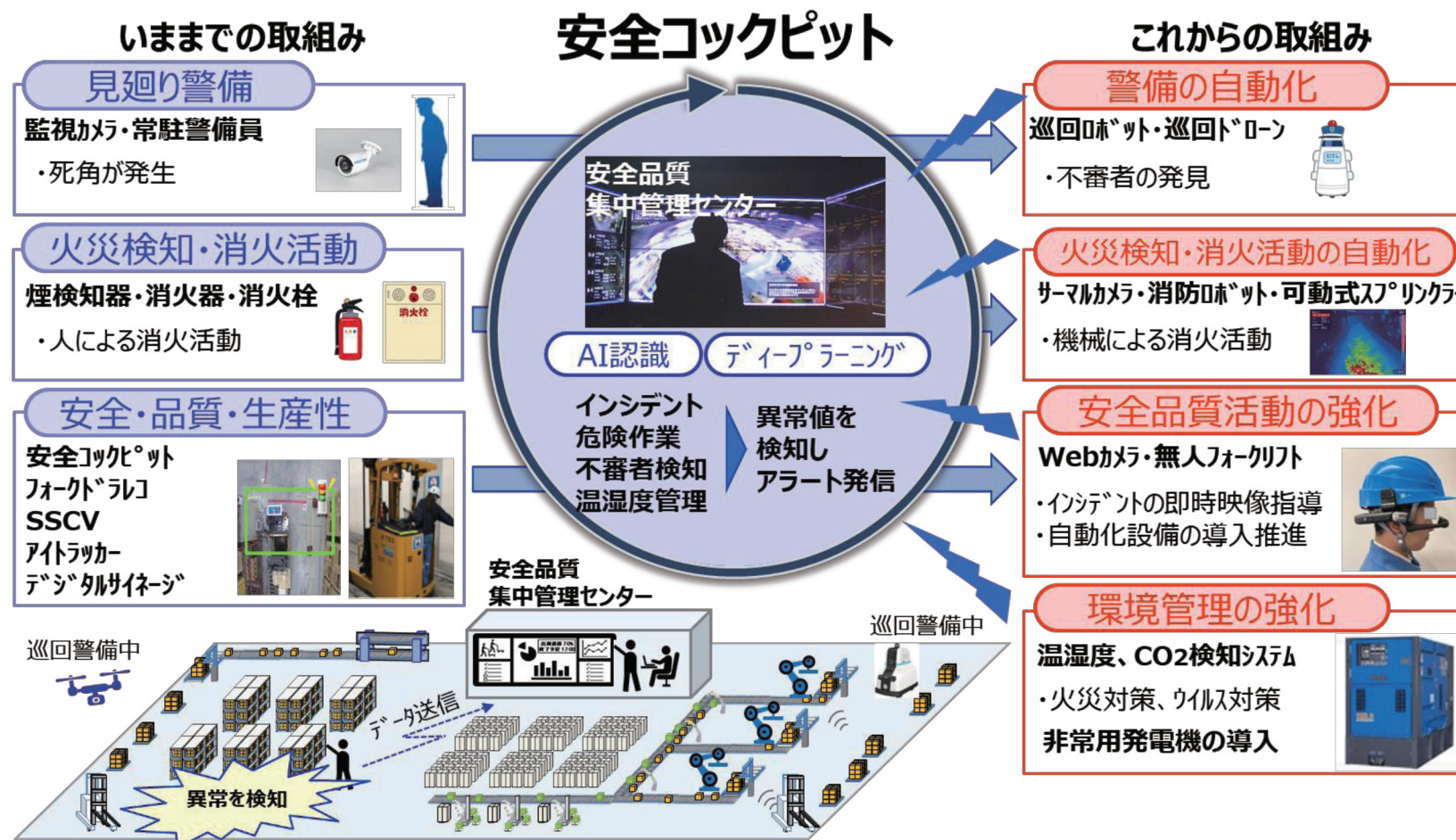
マテリアリティテーマ

4. 安全・健康で働きがいのある職場の実現
5. 人権および責任あるサプライチェーンの推進
6. ガバナンス・コンプライアンス
7. 作業時の事故防止
8. リスクマネジメント
12. 防災・減災の強化

重点施策

ESG経営の基盤強化

未来の物流センター像（安全・品質・生産性・防火・防犯の見える化）



重点施策

ESG経営の基盤強化

人財戦略

グローバル人財・DX人財の増強・育成強化でSTEP FORWARD

従業員エンゲージメントの向上

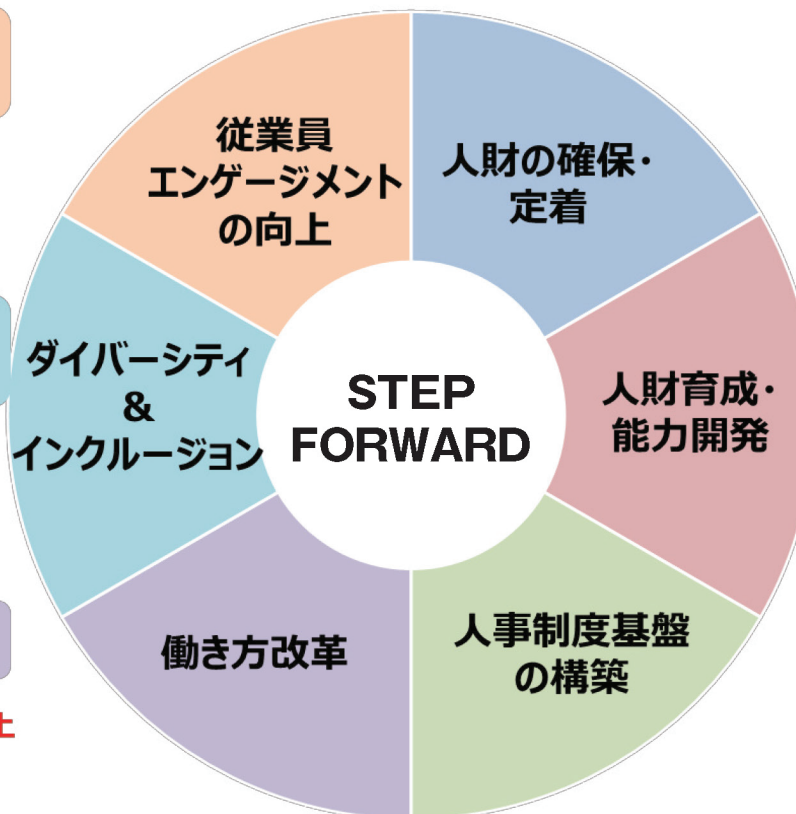
- VC活動の推進
- 従業員サーベイの実施
- キャリア面談の実施

ダイバーシティ&インクルージョン

- ダイバーシティの理解促進
- 女性活躍推進
- 仕事と育児・介護との両立支援

働き方改革

- DXや改善活動による生産性向上
- 健康力向上



人財の確保・定着

- DX人財、グローバル人財等優秀な人財の確保と定着

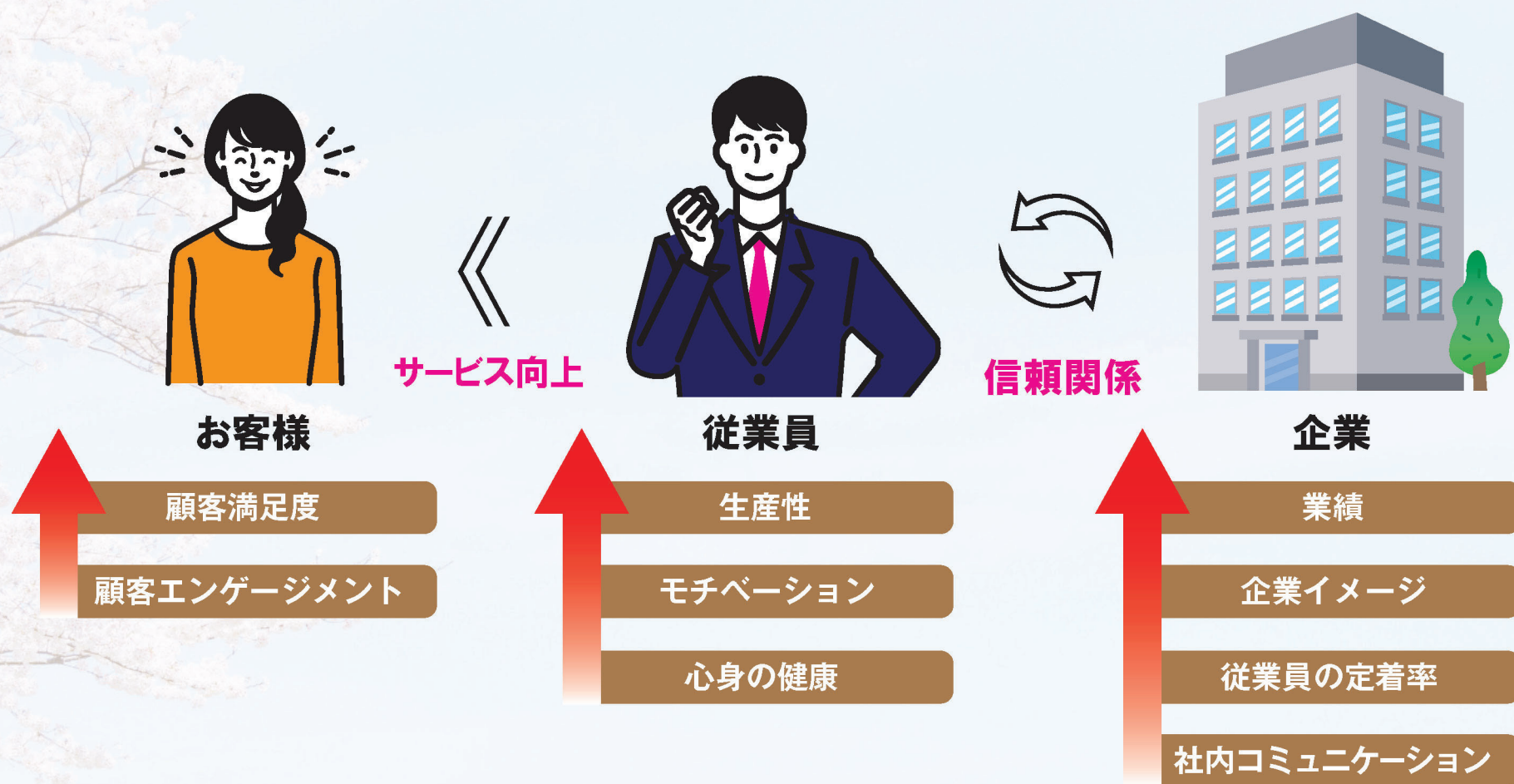
人財育成・能力開発

- 現場運営人財、DX・LT人財、グローバル人財の育成
- デジタルリテラシーの向上・リスクリング
- 教育体系の見直し
- 人財／スキル見える化

人事制度基盤の構築

- ジョブ型人事制度の導入
- 人事マネジメントシステムの刷新

従業員エンゲージメントが高い状態



第一次中期経営計画策定における環境認識

環境認識

国内少子高齢化 労働力不足 世界情勢不安
産業構造の激変 デジタル技術革新
持続可能な社会へ ESG・SDGs

マテリアリティ（普遍的な重要課題）

- ・脱炭素社会への貢献
- ・循環型社会への貢献
- ・成長を支える多様な人材の確保
- ・安全、健康で働きがいある職場の実現
- ・人権および責任あるサプライチェーンの構築
- ・ガバナンス、コンプライアンス
- ・操業時の事故防止
- ・リスクマネジメント
- ・強靱で持続可能な物流サービスの構築、進化

第一次中期経営計画

取り組むべき方向性

担い手にやさしい職場へ自動化・省力化
構造変化への対応と高付加価値化
物流の持続可能性向上と
サプライチェーンの強靱化
環境負荷低減
人権・ガバナンス強化



基本方針

ソニックフローは社会を支える効率的な物流の実現に向けて、
2023年7月から2026年6月迄の3か年を対象とした
「ソニックフロー中期経営計画 STEP FORWARD 2026」を策定致しました。

これまでソニックフローは、サプライチェーン全体の物流最適に対し、
時代の変化や要請を事業戦略に組み込みながら事業を展開してまいりました。
物流業界は深刻化するトラックドライバー不足、環境負荷低減をはじめとした
社会課題に対して、物流企業が果たすべき責任と役割は大きな転換期を迎えています。
ソニックフローは未来に向けて、重要な社会インフラを担う物流企業として、
様々な社会課題の解決と抜本的な革新の実現を目指し、新たな挑戦を始めます。
「従業員エンゲージメントと顧客エンゲージメントの同時向上」の実現に取り組みます。

国内の物流領域で「サステナブルで効率的な輸配送の実現」を目指します。
これまで培ってきた 3PL・物流センター運営・共同配送のノウハウを最大限活用し、
アイデアとテクノロジーを組み合わせた仕組みを創造し、
「広く多くの企業に利用されるプラットフォーム提供」へ挑戦してまいります。



個別施策

【関東地区】

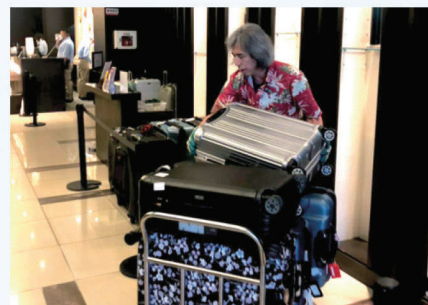
■ 3PL・物流センター運営・共同配送の更なる融合強化

【中部地区・関西地区・営業推進室】

■ 訪日団体旅行客のバゲージ輸送サプライヤーとしての地位確立

■ 既存顧客の掘下げによる領域拡大

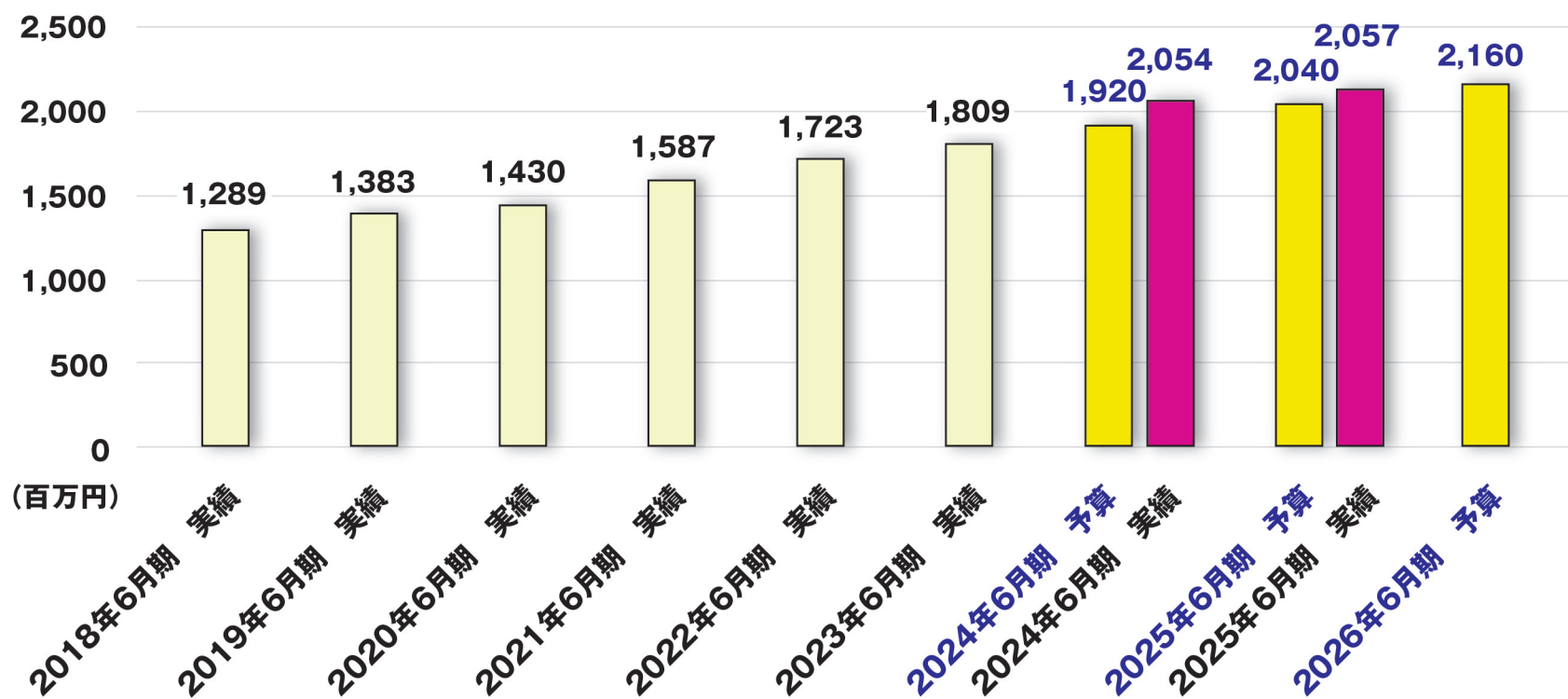
■ ものづくりに貢献する最適調達パートナーとしての地位確立



数値目標

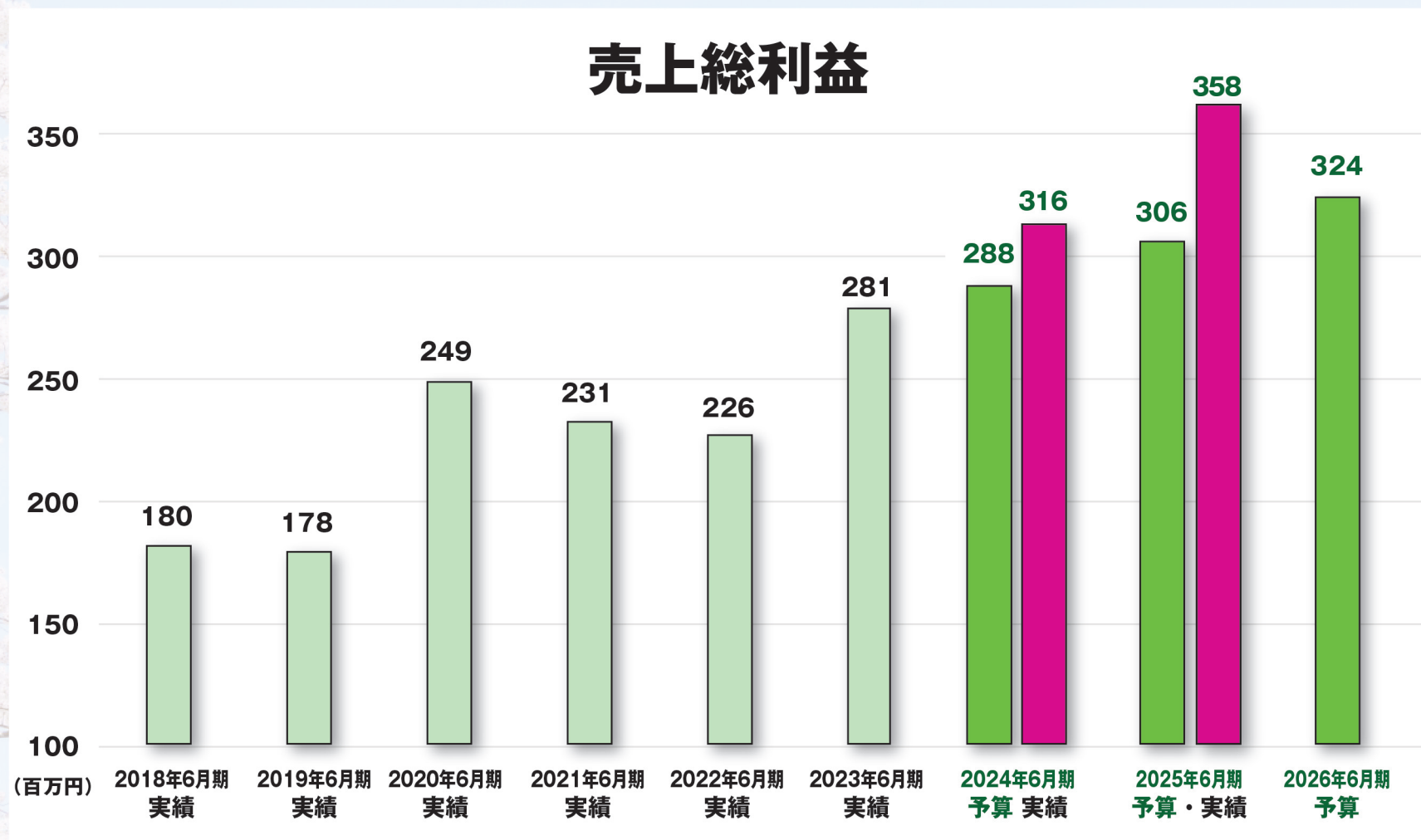
《数値目標概要》

売上高



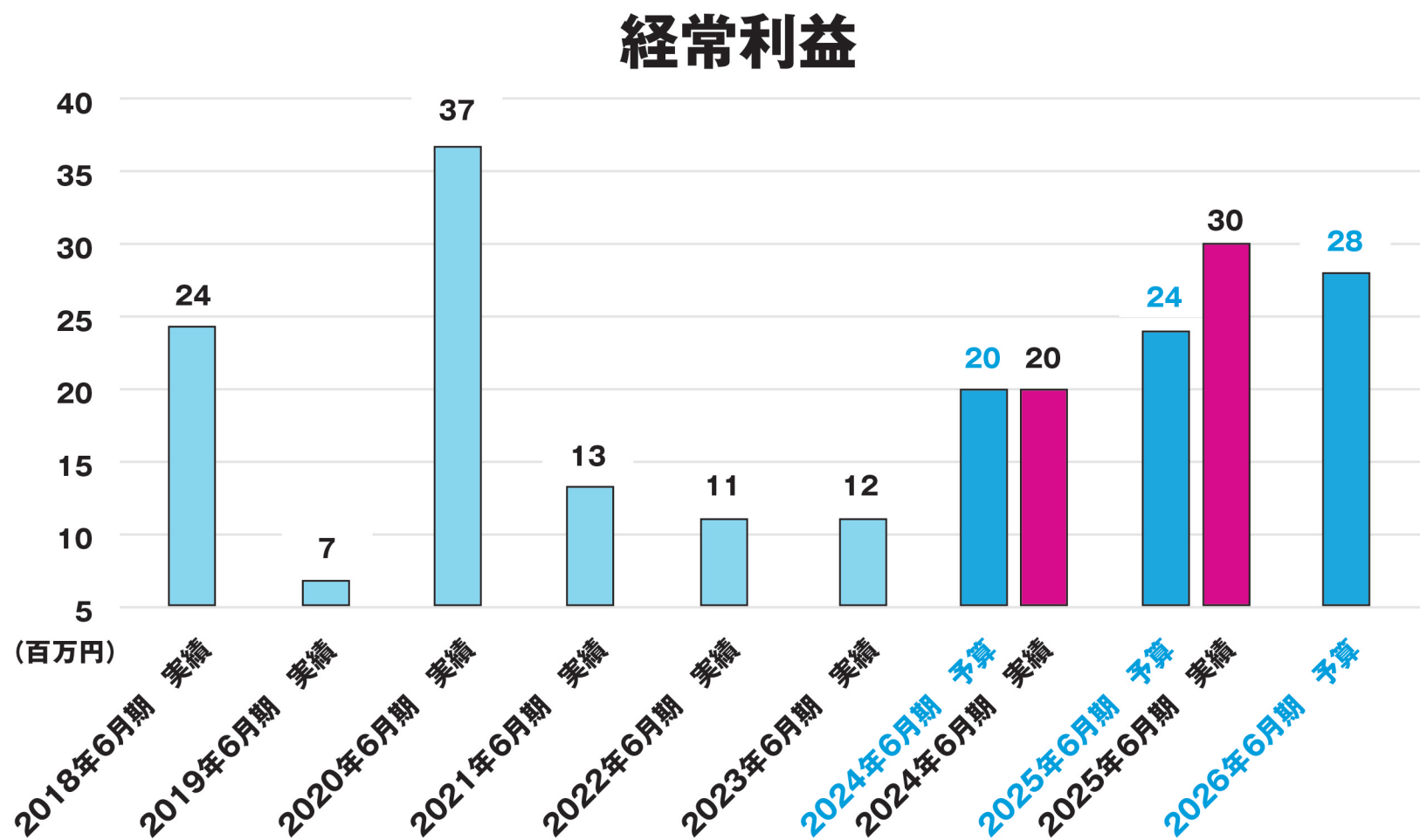
数値目標

《数値目標概要》



数値目標

《数値目標概要》



サステナビリティへの取り組み

気候変動をはじめとしたサステナビリティをめぐる社会課題に対し、当社も真摯に向き合い、サステナビリティへの取り組みを強化

(1) サステナビリティ推進体制の構築

2022年4月1日付けで『サステナビリティ担当役員』を新たに専任。
同時に『サステナビリティ推進室』を設立。

(2) サステナビリティ方針策定及びマテリアリティの特定

① サステナビリティ方針

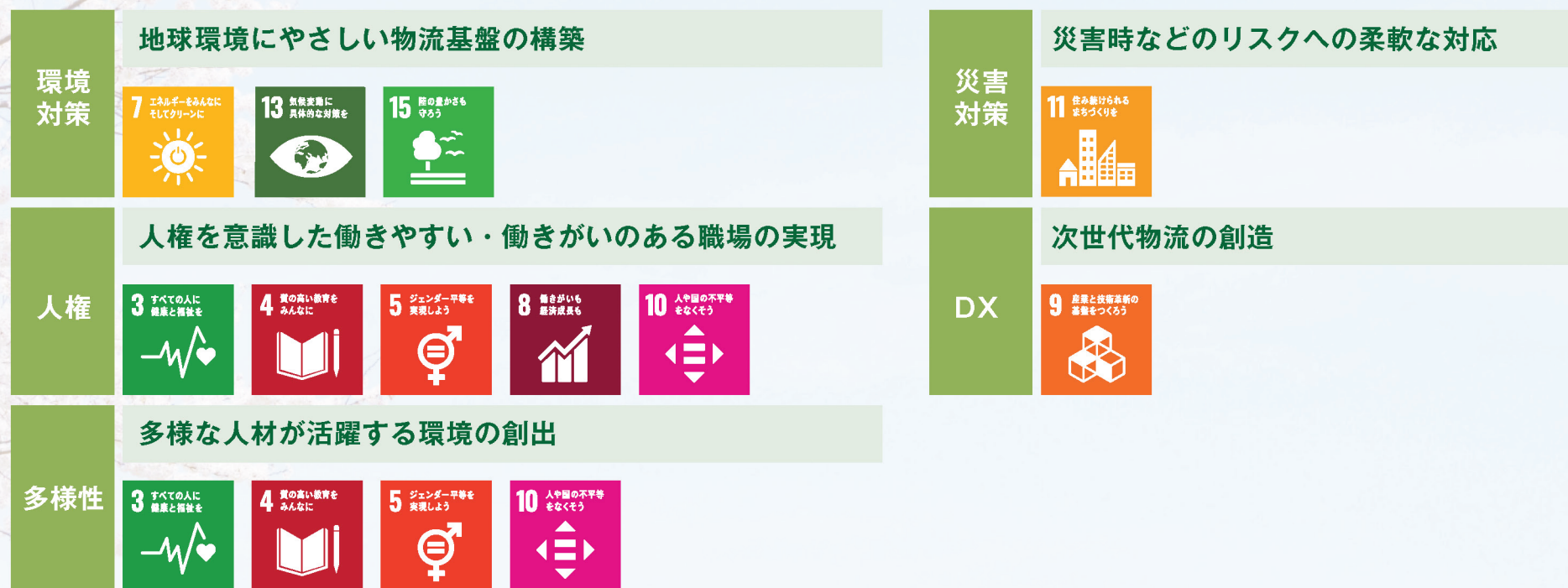
『株式会社ソニックフローは、持続可能な物流事業の実現に向け「事業を通じた社会課題解決」に取り組み、国際社会で合意された「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に貢献することを宣言し、ステークスホルダーとともに次世代物流を創造する「サステナブル経営」を実践する』

サステナビリティへの取り組み

② マテリアルの特定

SDGsをはじめとした社会課題の重要度を確認・整理したうえで、事業及びステークスホルダーの双方の観点から社会・環境への影響が大きく、かつ当社の企業価値向上や事業継続における重要度の高いテーマを抽出。

当社がサステナブル経営を行ううえで、重点的に取り組むべき課題として5つのマテリアリティを特定





SONIC FLOW